



ラビンドラナート・タゴール生誕150年記念シンポジウム

## 『慶應義塾とタゴール』



今年2011年は、インドの詩聖であり、アジア初のノーベル文学賞受賞者であるラビンドラナート・タゴールの生誕150周年にあたります。タゴールは今から95年前の1916年に初来日した際、慶應義塾で『Nationalism』について講演し、当時英文科教授の野口米次郎(ヨネ野口)とも親交を結びました。

慶應タゴール会並びにタゴール生誕150年記念会は、タゴールが当時の学生に与えた影響、日本とインドの知識人との関係など、タゴールについて多面的に検討するためにシンポジウムを開催いたします。

日時：2011年10月22日(土) 午後2時30分 から 5時まで (受付開始:午後2時)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール  
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45  
<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>

14:30- 開会の挨拶：慶應義塾長 清家 篤

14:40-15:00 基調講演：『元駐日インド大使の立場からみたタゴール観』  
アフターブ・セット 元駐日インド大使／元慶應義塾大学教授

第1部 15:00-15:20 臼田雅之「慶應講演『ナショナリズム』をめぐって」

15:20-15:40 丹羽京子「野口米次郎(ヨネ野口)とタゴール」

第2部 15:40-16:10 「タゴール詩の朗読と歌」：丹羽京子(日本語朗読)  
アジャンタ・グプタ(ベンガル語朗読)  
リタ・カール(ベンガル語の歌)

第3部 16:10-16:30 外川昌彦「コメント・タゴールと日本人」

16:30-17:00 ディスカッション

17:00- 閉会の挨拶：タゴール生誕150年記念会代表 河合 力

総合司会：神田さやこ・慶應義塾大学経済学部准教授

定員：240名 参加費：無料

問合せ：慶應タゴール会(kanda@a7.keio.jp)

なお、慶應義塾生・教職員以外の方は、お名前・参加人数をご記入の上、tagore150japan@gmail.com(タゴール生誕150年記念会)までお申し込みください。

主催：慶應タゴール会／タゴール生誕150年記念会

共催：慶應義塾大学東アジア研究所(<http://www.kieas.keio.ac.jp/index.html>)／JIPF(日印パートナーシップフォーラム)

後援：インド大使館／公益財団法人 日印協会